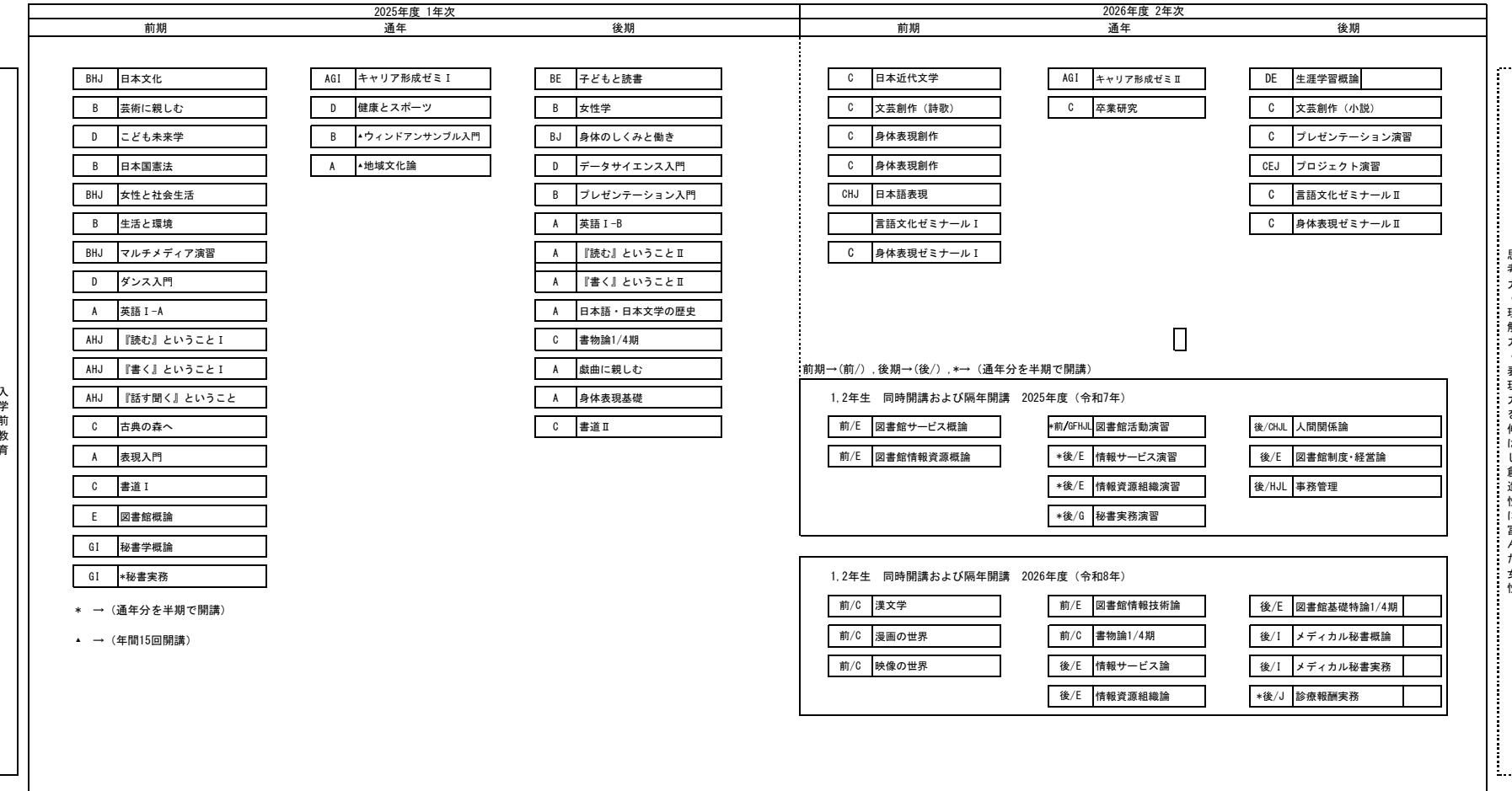


2025年度 1年生 表現文化学科履修系統図(2025年4月1日)

A 卒業必修
 B 教養卒業選択必修
 C 専門卒業選必修
 D 選択

E 司書必修科目
 F 司書選択科目
 G 上級秘書士必修関連科目
 H 上級秘書士選択関連科目

I 上級秘書士(メディカル秘書)必修関連科目
 J 上級秘書士(メディカル秘書)選択関連科目



表現文化学科の教育目標は、思索と創造の確立—読み、書き、考え、調べ、表現する能力を養うことにあります。そのため幅広い教養と感性豊かな心や実践的能力の伸長に重点を置いた共通教養科目と専門科目とをバランスよく配置しています。これらの授業を通して視野を広め、思考力を高め、表現能力・課題探求能力を身につけ、集大成としての卒業研究によって創造性が生み出せるように配慮しています。人間の最も基本的な力である思考力・理解力・表現力を伸ばし、優れた感性と「心」を基準とした精神の豊かさを求めて育成することを目指し、創造性に富んだ女性を育むことを目標としています。

教育方針所定の単位を修得した者には卒業を認定し、短期大学士(国文学)の学位を授与します。

課程卒業にあたっては、以下の点に達していることが求められます。

CP	1 教養課程をおき、人格高き現代女性の育成を図る。
	2 資格課程をおき、地域社会の一員として社会に貢献できる実務能力を養成する。
	3 専門教育課程をおき、日本語・日本文学・書道・書物・身体表現などを多角的かつ体系的に学ぶ。特に演習および卒業研究においては、表現能力を磨き、自立した学習者として集大成に向け、たゆまぬ努力を積み重ねることを体得する。

DP	1 日本語・日本文学・書道・書物・身体表現などに関する知識や鑑賞能力を修得している。
	2 社会人としての責任感を持ち、社会的な規範にのっとった誠実な行動ができる。
	3 コミュニケーション能力を身につけ、社会人として協和できる力を有している。
	4 日本語やさまざまな表現能力を活用し、自立した人間として社会生活を勤勉に営む能力を有している。

2025年度 2年生 表現文化学科履修系統図(2025年4月1日)

A 卒業必修	E 司書必修科目
B 教養卒業選択必修	F 司書選択科目
C 専門卒業選必修	G 上級秘書士必修関連科目
D 選択	H 上級秘書士選択関連科目

I 上級秘書士（メディカル秘書）必修関連科目
J 上級秘書士（メディカル秘書）選択関連科目

2024年度 1年次				2025年度 2年次			
前期		通年		後期		前期	
後期		通年		後期		後期	
B 芸術に親しむ	AGI キャリア形成ゼミ I	BHJ 日本国文化	C 日本近代文学	AGI キャリア形成ゼミ II	DE 生涯学習概論		
△ こども未来学	D 健康とスポーツ	BE 子どもと読書	C 文芸創作（詩歌）	C 卒業研究	C 文芸創作（小説）		
B 日本国憲法	B ▲ウインドアンサンブル入門	B 女性学	C 身体表現創作		C プレゼンテーション演習		
BHJ 女性と社会生活	A ▲地域文化論	BJ 身体のしくみと働き	CHJ 日本語表現		CEJ プロジェクト演習		
B 生活と環境		B プレゼンテーション入門	C 言語文化ゼミナール I		C 言語文化ゼミナール II		
BHJ マルチメディア演習		A 英語 I-B	C 身体表現ゼミナール I		C 身体表現ゼミナール II		
D ダンス入門		A 『読む』ということ II					
A 英語 I-A		A 『書く』ということ II					
AHJ 『読む』ということ I		A 日本語・日本文学の歴史					
AHJ 『書く』ということ I		C 書物論1/4期					
AHJ 『話す聞く』ということ		A 戯曲に親しむ					
C 古典の森へ		A 身体表現基礎					
A 表現入門		C 書道 II					
C 書道 I							
E 図書館概論							
GI 秘書学概論							
GI 秘書実務							

* → (通年分を半期で開講)

▲ → (年間15回開講)

1,2年生 同時開講および隔年開講 2025年度（令和7年）

前/E	図書館サービス概論	*前/GFHJL	図書館活動演習	後/CHJL	人間関係論
前/E	図書館情報資源概論	*後/E	情報サービス演習	後/E	図書館制度・経営論
		*後/E	情報資源組織演習	後/HJL	事務管理
		*後/G	秘書実務演習		

卷之三

船企業・公務員等

表現文
化学科
の教育

教育方針所定の単位を修得した者には卒業を認定し、短期大学士(国文学)の学位を授与します。

課程卒業にあたっては、以下の点に達していることが求められます。

CP	1 教養課程をおき、人格高き現代女性の育成を図る。
	2 資格課程をおき、地域社会の一員として社会に貢献できる実務能力を養成する。
	3 専門教育課程をおき、日本語・日本文学・書道・書物・身体表現などを多角的かつ体系的に学ぶ。特に演習および卒業研究においては、表現能力を磨き、自立した学習者として集大成に向け、たゆまぬ努力を積み重ねることを体得する。

DP	1
	2
	3
	4 日本語やさまざまな表現能力を活用し、自立した人間として社会生活を勤勉に営む能力を有している。

2025年度 1年生 こども学科履修系統図 (2025年4月1日)

A 卒業必修
 B 選択
 C 幼稚園教諭二種免修
 D 保育士必修
 E 幼稚園教諭二種免選択
 F 保育士選択
 G 保育士選択必修
 H こども音楽療育必修
 I こども音楽療育選択
 J 准学校心理士必修

2025年度 1年次				2026年度 2年次			
前期	通年	後期		前期	通年	後期	
日本文化	AD キャリア形成ゼミ I	子どもと読書	C 教育実習	DI 社会福祉	AD キャリア形成ゼミ II	子ども家庭支援論	
芸術に親しむ	CD 健康とスポーツ	女性学	H こども音楽療育実習	D 社会的養護 I	C 子どもの食と栄養	子どもの理解と援助	
こども未来学	ACD 英語 I	身体のしくみと働き		DI 子どもの理解と援助	CDIJ 特別支援教育の基礎	子どもの家庭の心理学	
日本国憲法	B ワインディングアンサンブル入門	データサイエンス入門		CEIJ 音楽演習 I	AD ゼミナール	CEIJ 幼児理解と教育相談	
女性と社会生活		プレゼンテーション入門		H 保育内容演習 (環境)		H 音楽演習 II	
生活と環境		CD 教育原理		CD 保育内容演習 (言葉)		CD 保育内容演習 (健康)	
マルチメディア演習		CD 保育者論		CD 保育内容演習 (表現)		CD 保育内容演習 (人間関係)	
ダンス入門		D 子ども家庭福祉		CD 教育の方法と教育メディア		DI 子どもの健康と安全	
保育原理		F 幼児と音楽 III		CF 保育指導法		D 社会的養護 II	
保育の心理学		AD 幼児と造形		D 保育実習指導 I -B		DJ 子育て支援	
子どもの保健		CD 幼児と表現		D 保育実習 I (施設)		AD 総合表現	
幼児と音楽 I		D 幼児と健康 II		G 保育実習指導 II		CD 保育・教職実践演習(幼稚園)	
幼児と音楽 II		CD 幼児と言葉		G 保育実習 II			
幼児と健康 I		DH 音楽演習 III		G 保育実習 III			
幼児と環境		D 保育の計画と評価		G 保育実習 III			
教育課程論		D 乳児保育 II					
保育内容総論		D 保育実習指導 I -A					
乳児保育 I		D 保育実習 I (保育所)					
教育実習指導		H こども音楽療育演習					
こども音楽療育概論							

就職 幼稚園・保育園・認定こども園・児童福祉施設等
知性や実践力を身につけた保育者

子どもや家庭を取り巻く様々な環境が大きく変化し保育者に求められる役割はますます拡大してきています。子どもの豊かな育ちを支えるためには、一人ひとりの命を尊重し、小さな声に耳を傾け、しっかりと寄り添うことが大切です。また、子育てに関する様々な問題に関心を持ち、家庭や地域の環境についても心を配ることが必要です。

「時代に適応できる堅実な女性の育成」を校是とする本学の保育科では、「専門知識と技術を修得し豊かな人間性と、今日的な課題に対処できる知性と実践力を身につけた保育者を要請する。」ことを目標としています。

教育方針所定の単位を修得した者には卒業を認定し、短期大学士(保育)の学位を授与します。

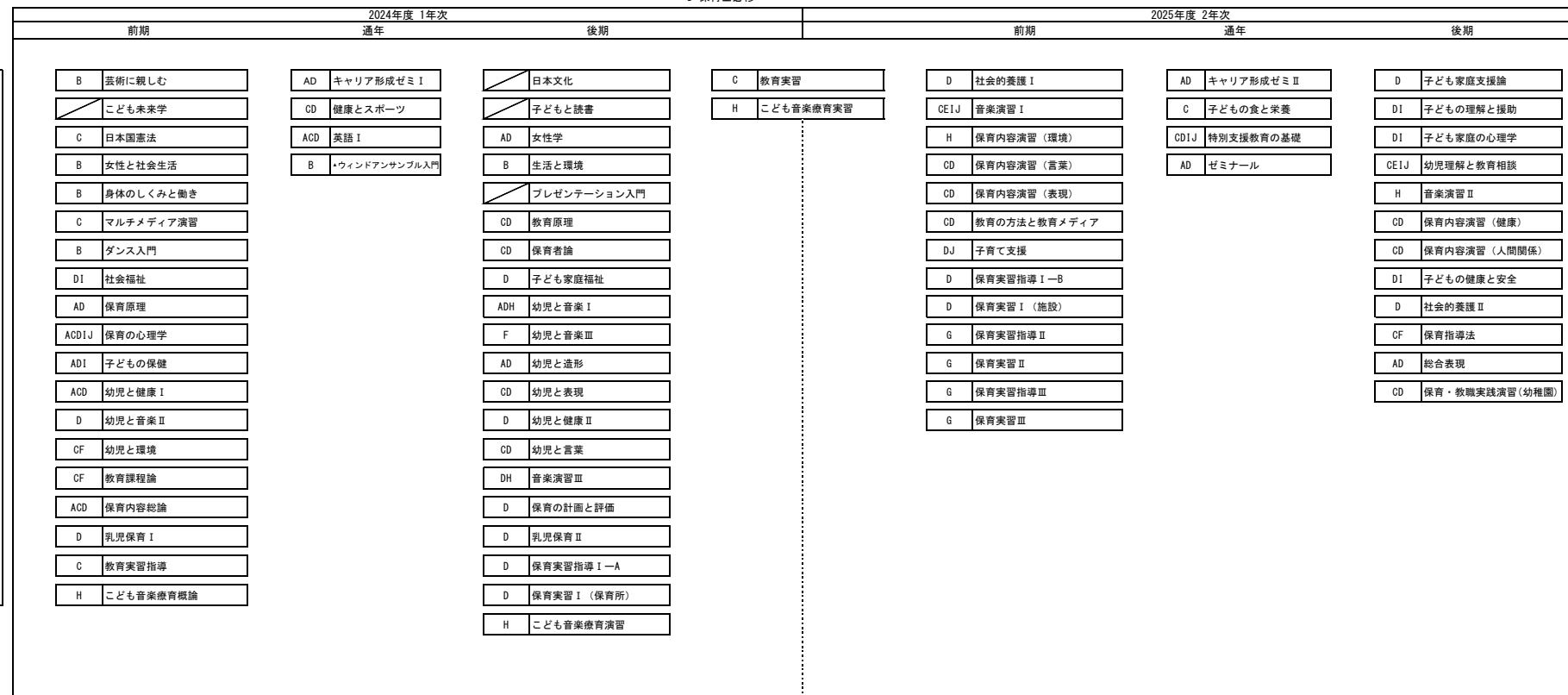
課程卒業にあたっては、以下の点に達していることが求められます。

CP	1 社会のニーズに対応した保育者の養成を図る。 2 保育理論に基づき実践を重視した教育課程を編成する。 3 保育の専門的知識、技術を習得することができる保育者を養成する。
----	---

DP	1 社会に貢献するための専門的な知識と技術を修得している。 2 子どもの育ちを支援できる豊かな人間性と協和の心を身につけている。 3 誠実かつ勤勉に学び続ける力を身につけている。
----	---

2025年度 2年生 こども学科履修系統図(2025年4月1日)

A 卒業必修
 B 選択
 C 幼稚園教諭二種免修
 D 保育士必修
 E 幼稚園教諭二種免選択
 F 保育士選択
 G 保育士選択必修
 H こども音楽療育必修
 I こども音楽療育選択
 J 准学校心理士必修



就職 幼稚園・保育園・認定こども園・児童福祉施設等
知性や実践力を身につけた保育者

子どもや家庭を取り巻く様々な環境が大きく変化し保育者に求められる役割はますます拡大してきています。子どもの豊かな育ちを支えるためには、一人ひとりの命を尊重し、小さな声に耳を傾け、しっかりと寄り添うことが大切です。また、子育てに関する様々な問題に関心を持ち、家庭や地域の環境についても心を配ることが必要です。

「時代に適応できる堅実な女性の育成」を校是とする本学の保育科では、「専門知識と技術を修得し豊かな人間性と、今日的な課題に対処できる知性と実践力を身につけた保育者を要請する。」ことを目標としています。

教育方針所定の単位を修得した者には卒業を認定し、短期大学士(保育)の学位を授与します。

課程卒業にあたっては、以下の点に達していることが求められます。

CP	1 社会のニーズに対応した保育者の養成を図る。 2 保育理論に基づき実践を重視した教育課程を編成する。 3 保育の専門的知識、技術を習得することができる保育者を養成する。
----	---

DP	1 社会に貢献するための専門的な知識と技術を修得している。 2 子どもの育ちを支援できる豊かな人間性と協和の心を身につけている。 3 誠実かつ勤勉に学び続ける力を身につけている。
----	---